

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 **留萌ロータリークラブ**

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

プログラム

●本日 役員退任挨拶	会員誕生日 6月20日 明澤 正樹 6月22日 森 俊二	結婚記念日 6月21日 森 幹雄
●次週予定 最終夜間例会／会長退任挨拶	配偶者誕生日 6月23日 齋藤 和子	特別慶祝（還暦） 6月22日 森 俊二

No. 2610
第47回 6月18日

出席報告

前例会

会員総数……………41名
出免会員……………8名
出免出席……………4名
基準会員出席……………20名
出席率……………72.72%

前々々

第44回 5月25日
欠席会員……………0名
内メイクアップ……………0名
修正出席率……………100%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

幹事報告……………

- 羽幌RCより会報No.1683~1686号及び6月例会プログラムを受領。
- ロータリー米山記念奨学会寄付金納入明細書及びロータリー財団クラブ別寄付金明細書が届いておりますので回覧します。
- ポールハリス・ソサエティ入会案内が届いておりますので回覧します。
- そらぷちキッズフェスティバル2014夏の開催案内が届いておりますので回覧します。
- ロータリー平和センター東ヶ崎潔祈念ダイアログハウスへの募金のお願いが届いておりますので回覧します。

委員会報告……………

次年度社会奉仕委員会 森(幹)会員
6月8日ゴールデンビーチでのキバナコスモスの種まきに参加された会員の皆様ありがとうございました。次年度社会奉仕委員会では6月25日にあんどんの移動を行います。また、6月29日には海水浴場クリーン作戦が行われます。後ほど皆様方にはFAXにて詳しくお知らせを送らせていただきます。よろしく申し上げます。

ニコニコBOX……………

- 親睦活動委員長退任します。 高田会員
- 職業奉仕委員長退任します。お世話になりました。 対馬会員
- 社会奉仕委員長退任します。1年間ありがとう

うございました。また、新旧合同理事会欠席してすみません。 堀会員

• 理事、国際奉仕委員長退任します。1年間ありがとうございました。 燕会員

• 会員増強委員長退任します。1年間ご協力ありがとうございました。 渡邊会員

• 会員研修委員長退任します。 阿部会員

• 広報、会報委員長退任します。 遠藤会員

• ゴルフでダブルペリアにはまって優勝しました。 大嶋幹事

前 回 718,600円

今 回 31,000円

累 計 749,600円

任の挨拶と致します。

遠藤 広報・クラブ会報委員長

この前就任の挨拶をしたと思っていましたが1年は本当に早いもので、もう退任の挨拶の時期となりました。会報委員会は、私と副委員長に鈴木会員、委員に佐藤会員の3名です。本来は松田会員も委員でしたが退会されたので、この3名にての委員会活動でした。毎例会の記録を残すのは大変な委員会で、例会を欠席出来ないのが大変でした。今回47回目の会報が出来上がります。皆様のご協力の下、何とか無事退任出来そうです。1年間ありがとうございました。



プログラム・・・・・・・・

「委員長退任挨拶」

二ノ宮 例会運営委員長

今年度の例会運営委員会は、ベテランの渡部会員、齋藤会員、そして行動的な高橋会員、辻本会員と私の5名のメンバーにて委員会活動を行い、無事終わることが出来そうです。出席管理につきましては、エキスパートの齋藤委員に今年も担当して頂きました。例会の出欠、年次大会やIMの出席についてもしっかりと出欠をとり、大変助かりました。ありがとうございました。また、プログラムにつきましてはタイムリーなプログラム、行動的なプログラム、ベテラン会員が新しい会員へ話しかけて頂けるプログラムの3つをテーマに取り組みました。タイムリーなプログラムにつきましては、留萌深川間高規格道路完成を間近にしての開発建設部担当次長のお話や、留萌港より留萌産の木材を韓国に輸出するにあたっての、留萌港についての卓話も実施する事が出来ました。また、行動的なプログラムと致しましては、目の検査を行うための留萌市健康の駅での例会や、JRでの増毛往復列車の旅例会、そして神居岩でのお花見例会など思い出に残る例会を開催する事ができました。一重に、委員会メンバーそして会員皆様の温かいお力添えがあったからこそと感謝申し上げます。皆様のご協力に感謝し、委員長退

渡邊 会員増強委員長

この1年間、会員増強こそロータリーの活性化の原点であるとの活動方針の下、皆様のご協力をいただきながら活動して参りました。残念ながら年度当初40名から41名と純増1名という結果になりましたが、会員増強はロータリーの永遠のテーマです。次年度は一会員として会員増強を頑張りたいと思っています。この1年間、自分の力不足を反省すると共に、皆様から頂いたご協力に感謝を申し上げ、退任の挨拶と致します。

阿部 会員研修委員長

先ずは2月に開催した情報集会で、会員皆様のご協力をいただき、貴重な意見を集める事ができました。ご協力感謝申し上げます。

新会員研修会は梁川、松村会員2名について実施致しました。ちょっとしたトラブルもございましたが、想定内の範囲で滞りなく進められました。講師は高田会員にお願いしましたが、高田会員にとって初めての事で受けていただけると心配でしたが、快く受けていただき、内容についてもシンプルかつ必要な情報は漏らさず伝えていただき、新会員には心に残る研修会ではなかったかと思えます。

三分間情報では準備段階で様々な勉強をさせていただいた事に加え、話した後に忌憚のない意見や感想を多くの方からいただきました。こ

れも先輩たちに向けて経験のない私が話す事の不安をなくす意味で、むしろ嬉しい反応でした。

この時期になりますと、昨今の頃、会員研修委員会の副委員長をする事に決まっていた清水会員と最初に委員会の話をした時、ガバナー補佐をして忙しかったので、次の1年はゆっくりしたかったんだよなーと言われて、長い1年になりそうだと天を仰いだ記憶がよみがえります。あとで考えると清水会員一流のジョークでした。始まってみると、長いか短いかというよりは長く感じられる1年でした。想像していたのとは違っておりました。よくぞこれほど酒飲みのメンバーが揃ったものだと思う委員会で、委員会のミーティングが夜なのは暗黙の了解。とにかくよく呑む、場所を変えても呑む。従いまして、大事な話は予めまとめを用意して開始10分程度で確認、その後は職種も年代もロータリーの経験もまるで違うメンバーで委員会やその他話ができ、見識を広める事が出来ました。

2014年に入ってから、委員会を開きますと言わなくてもいつの間にか集まっている雰囲気もあって、これは私が何をやるのではなく全員がこう言う雰囲気をやる意識があって、自然と出来上がっていた形だと思っています。メンバーにもめぐまれて、何とか1年、委員長をやり通せた事が個人的には一番大きな事かなと思います。会員研修委員会の清水副委員長、原田会員、鶴城会員にも感謝申し上げます。

この1年が終わろうとしている今、強く思っているのは「こうして感謝を積み重ねる中で、ロータリアンはNOを言いにくくなるんだ。」と言う事です。「NOと言える日本」という本に触発されて以来、比較的「NO」を言うタイプだと自分では思ってきましたが、個性が死なないレベルで多少控える必要があるなど考える今日この頃でございます。本当にありがとうございました。

燕 理事・国際奉仕委員長

この1年間、理事及び国際奉仕委員長を務めさせていただきました。入会歴が浅く、内容的には大変難しくあまり理解出来ない部分が多々

あり、反省しております。米山及び財団の寄付を皆様にご協力頂いた事、委員会担当の夜間例会を開催した事、等々色々とありましたが、自分の理解不足で会長幹事に負担をかけてしまった事を反省しております。そして、山本副委員長にも色々な部分でフォローして頂いた事を感謝しております。次年度もまた山本副委員長と同じ委員会ですので、引き続きご指導頂きたいと思っております。1年間の活動を通して皆様方に感謝を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

堀 理事・社会奉仕委員長

理事及び委員長退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。1年間社会奉仕委員長として、皆様方の多大なるご協力で無事に委員会活動をする事が出来ました。活動方針として「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」として一番最初の委員会活動として、晴天の下ゴールデンビーチの清掃活動を皮切りに、最大行事であるやん衆あんどん、特別支援児童への支援や青少年剣道大会の開催も致しました。特に、やん衆あんどんでは経験豊かなロータリアンのお陰で、事故もなく無事に終了する事が出来ました。また、あんどん例会反省会でも皆様方から活発な意見を頂戴いたしました。頂いた貴重な意見は次年度に引き継ぎたいと思います。青少年剣道大会では張り詰めた空気の中、小さな錬士が必死に竹刀を持ち立ち向かう姿を見て、開催して本当に良かったなという充実感もあり、良い社会奉仕活動となりました。

委員会の反省点としては、計画した活動は全て実施しましたが、メンバーで事前会議や反省会が出来なかった事で、そこをもっとやっていたら活発な委員会活動が出来たと思います。しかしながら、社会奉仕委員会を通じてまた一つロータリーの勉強が出来たので、非常に充実した1年でした。皆様本当にありがとうございました。

高田 理事・親睦活動委員長

就任の際に、この1年間自らが「豊かさ」を

実感できる年度でありたいと申し上げました。

私自身、皆様のご協力のお陰で、この1年間を「豊かさ」と充実感を実感した年度となりました。ありがとうございました。皆様方はどのような1年間と感じたでしょうか。

長くクラブに在籍してみて、親睦は自らが楽しもうという姿勢をつくれれば、仲間と楽しい時間を過ごす事が出来る、いわゆる協調性の重要さを再確認致しました。

親睦活動委員会は毎例会ニコニコBOXの発表があり、SAAと協力し合いながら会場設営、食事の準備などがあります。今年度の場合、親睦活動に精通した行徳SAAが全てを企画したと言っても過言ではありません。今年度の夜間例会は、委員会が少人数でしたが総力をあげて演出を致しました。結果委員会メンバーの結束力のありがたさをつくづく感じました。なお6月25日の最終夜間例会では、3人の歌姫を招いての歌謡ショーを催しますのでお楽しみ下さい。

最後になりましたが、この1年間の皆様のご協力に感謝して、私の役目を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

対馬理事・職業奉仕委員長

入会以来、22年間で初めて職業奉仕委員長を任じられました。不思議と縁の無かった委員会でありました。

職業奉仕という言葉自体、一般世間では使わない、ロータリーならではの名称であります。社会奉仕や国際奉仕のように、奉仕する対象が地域社会であったり、他者に対するものと違い、職業奉仕の対象とする相手がむしろ自分自身であるという倫理的な所が、具体的に何をすれば良いのか難しいところです。まずは職業奉仕の実践として例会出席の奨励であります。職業人の集まりであるロータリークラブですので、毎例会卓話等を通じ職業人の体験談や専門知識を知る事で、職業倫理観を学ぶことができます。

次にお互いの職業を知り合う事の大切さから、職場訪問移動例会を実施しました。萌幼会ニノ宮理事長のご協力をいただき、沖見保育園を知る事が出来ました。

私自身にとりましては、これまでになく多忙な1年であり、ロータリー活動はあまり出来ず、中出会長、大嶋幹事には申し訳なく思っております。次に職業奉仕委員会を担当する事があれば、今年の反省をいかし、これぞ職業奉仕というものを実践したいものです。

~~~~~ (先週のつづき)

### ○富山唯夫先生

「ロータリー理論に精通し、卓越した行動力で、すばやく完璧にクラブを先導した」

1925年8月17日生まれ、整形外科医、1965年12月1日クラブ入会、第14代会長、会長方針は「内に充実を、外に拡大を」

優秀クラブ幹事として地区表彰を受ける。「ミスターロータリアンの評」ロータリー理論・情報の第一人者であった。医院の診察室にもロータリーの書籍を何冊も持ち込んで読んでいました。「R Iの新方針を躊躇なく留萌クラブに早期に取り組んだ」理事としての青少年委員長制度や職業奉仕部門や社会奉仕の4つの小委員制度など。「国際青少年交換事業」オーストラリアからシャロン嬢と留萌から村田さんの交換留学に率先して尽力した。「学会で鍛えたディベート」肉を切らせて骨を切る手法を秘める。穏やかな表情の中に必ず論破する強い力を見る。先生の持論は、好奇心持続と、想像力を失うな。特技は、逢った人の顔と名前は忘れない。(どこかで逢いましたね、の言葉がけ)「増毛の秀才」石川先生は長嶋タイプ、富山先生は王タイプだと思います。しかし、いずれが上を行くかの問いに、両者譲らず「私さ」の返事。

私の入会した年度は、会長が加地先生、副会長に石川先生、情報委員に富山先生という未曾有の強力な布陣であった。この様な布陣は後にも先にも決してあり得ないだろう。私だけではない。当時の多くの会員が3賢兄に魅了され、敬慕の念をを寄せていた事は、今でも折に触れ語り伝えられている。

以上、私の尊敬する先輩ロータリアンとしての話を終わらせていただきます。「ロータリーにいと、良い人に会える」